

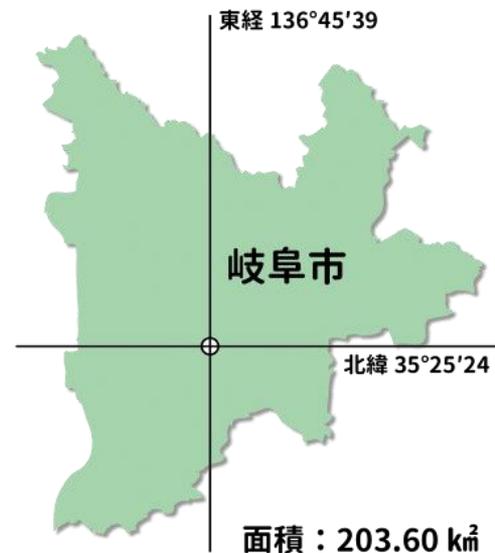
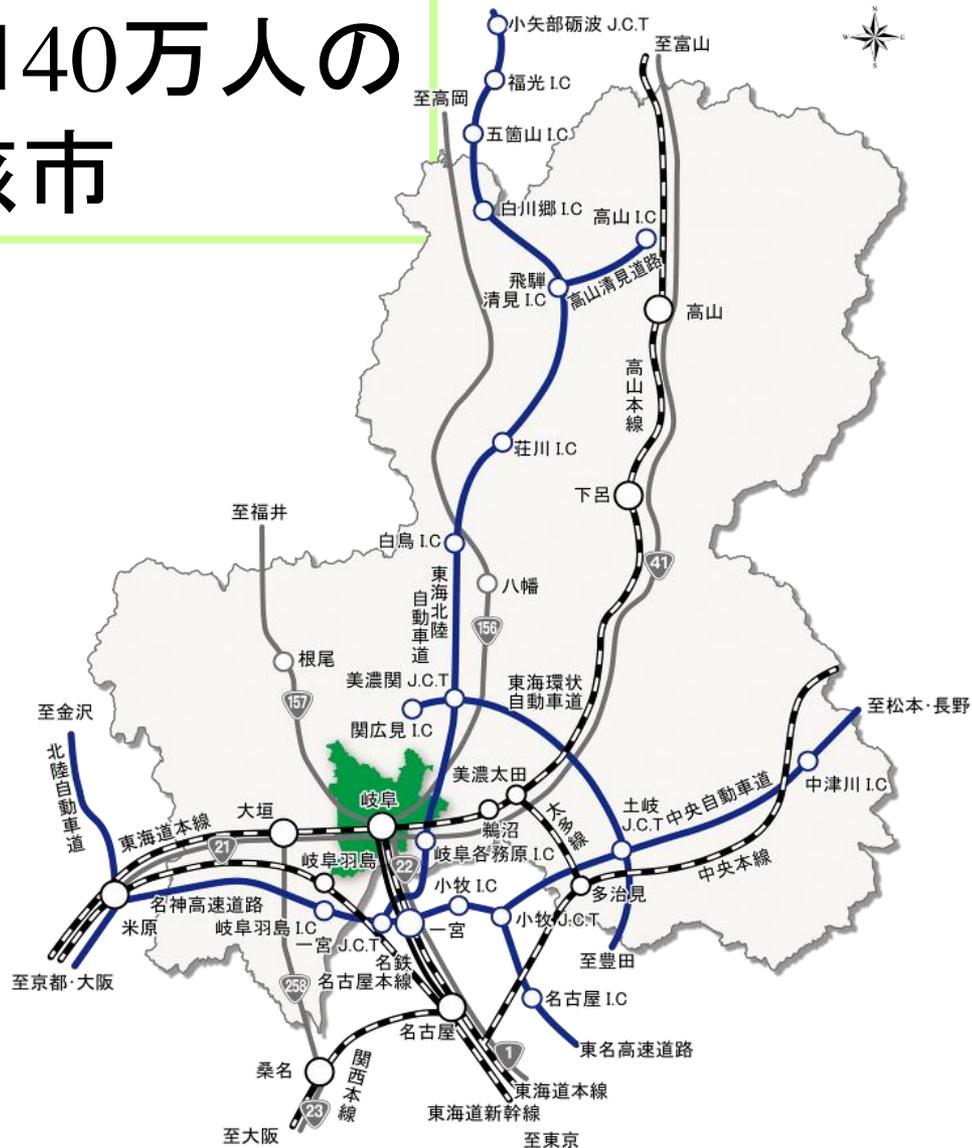
シビックプライド

～本と情報が
ひととまちをつなぐ～



みんなの森 ぎふメディアコスモス
総合プロデューサー 吉成 信夫

岐阜市は 人口40万人の 中核市



複合文化施設 ぎふメディアコスモス



みんなの森
ぎふメディアコスモス

敷地面積:	14,725.39m ²
建築面積:	7,530.57m ²
延床面積:	15,444.23m ²
建物高さ:	16.09m

絆の拠点

知の拠点

文化の拠点

- 市民活動交流センター
- 多文化交流プラザ

- ホール
- 展示ギャラリー
- オープンテラス

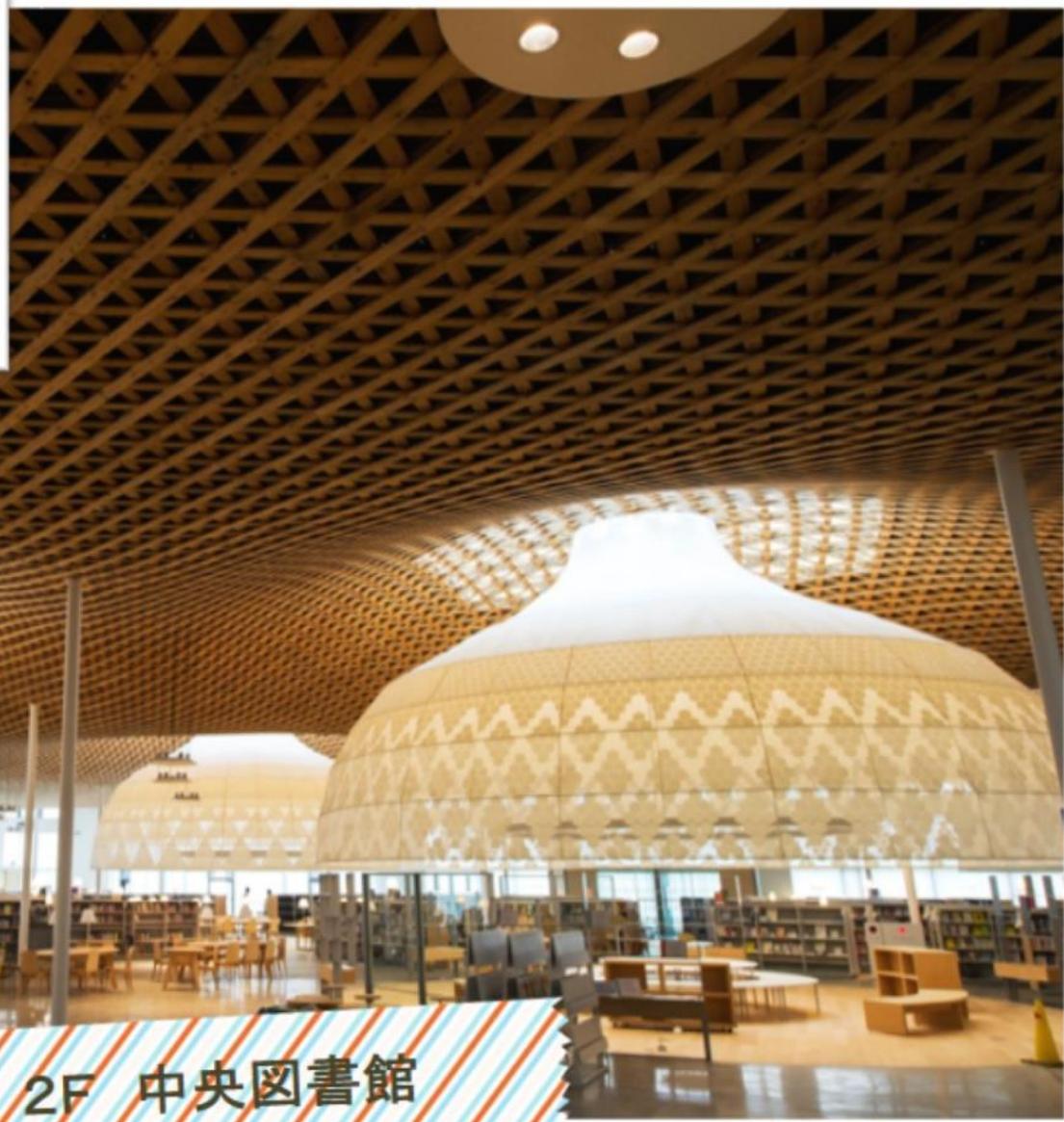


滞在型図書館

- 座席数910席
- 最大所蔵可能90万冊



みんなの森 ぎふメディアコスモス 外観



2F 中央図書館

私たちが大切にしたいこと

「子どもの声は未来の声」

私たちの図書館では、本を通じて子どもたちの豊かな未来へとつながる道を応援したいと考えています。
就学前のお子さまから、小中学・高校に至るまで、
長い子どもたちの育ちを末永く見守る場所でありたいと思うのです。

だから、私たちは館内で小さなお子さまが少しざわざわしていたとしても、
微笑ましく親御さんたちといっしょに見守ります。
来館されたみなさまも、どうぞそのような考え方をもちた図書館だにご理解いただければ有り難いです。

そして、小さなお子さまのお父さま、お母さまにもお願いです。
ここは公共の場所です。遊び場、運動場ではありませんので、公共の場所でのマナーを
お子さまに教えていただく場としてもご活用いただければ幸いです。

みなでお互い様の気持ちを持ち寄る場所にしていきたいと思います。

みんなの図書館

おとなの夜学

通算46回 開催

みんなの図書館

おとなの夜学

OTONA no YAGAKU

vol.02 前編

(主催) 岐阜市立図書館
(企画) NPO法人 ORGAN

岐阜に 있는のに “知らなかった” 岐阜を知る。

岐阜ならではの知性が集まり対話する、おとなの為のまなびの時間

(参加資格) 中学生以上
*お子さま連れはご遠慮下さい
(定員) 50名 (参加費) 無料

otonanoyagaku.net

葉月

2016.8.25 thu

岐阜から生まれた
ジャポニスム

—美濃和紙と岐阜提灯の今昔—

長月

2016.9.20 tue

川が繋いだ手仕事の物語

—和傘、鶴籠、川舟—

神無月

2016.10.27 thu

岐阜の発酵をデザインする

—帖とたまりと発酵トーク—

霜月

2016.11.14 mon

岐阜市不思議巡り

—都市伝説と神話の現場から—



みんなの図書館 おとなの夜学

OTONA no YAGAKU

vol.02 前編

今期も岐阜の地域文化に通じた様々な分野の専門家や“その道の第一人者”による
対談やディスカッション、レクチャーを予定しています。

葉月

岐阜から生まれたジャポニスム

—岐阜の伝統工芸・前編 美濃和紙と岐阜提灯の今昔—
2016.8.25 thu 19:00-20:30 / 金華山テラス



明治の頃、フランスを中心としたジャポニスム(日本趣味)を牽引したプロダクトが、岐阜から輸出された提灯・和傘・うちわであったことをご存知ですか?日本のなるもの代表としてヨーロッパに迎え入れられた岐阜の和紙製品は、今もなお人々の心を惹きつけています。手書き和紙職人を支援しながら、海外に通用する和紙製品を作り続ける家田氏と、岐阜提灯製造の老舗を切り盛りする浅野氏と、和紙と提灯の今と昔、そしてこれからを語ります。

家田 学
いまだまよ
家田精工株式会社

浅野 有誠
あきの ゆきひつ
株式会社浅野商店

岐阜120年の家田精工の三代目。家田氏は、美濃和紙を使った提灯和紙の加工販売を営むことを目指し、伝統と最新技術を融合させた和紙印刷・加工を行う。

岐阜市で10年以上にわたり伝統の工芸である岐阜提灯を製造。「うちゝん」にこだわり、伝統技術にこだわりの一方で、現代のライフスタイルにマッチした新しい「提灯のかたち」を提案している。

長月

川が繋いだ手仕事の物語

—岐阜の伝統工芸・後編 和傘、鶴籠、川舟—
2016.9.20 tue 19:00-20:30 / 金華山テラス



岐阜で様々な工芸品が生まれたのは、生産地である美濃と水運による繋がりがあってこそ。長良川流域の伝統産業は、原料生産地と製造地と言う関係で長らく一体であり、昨年の世界農業遺産“清流長良川の鮎”における里川システムの重要な構成要素。高度成長期に一度途切れかけたその繋がりが手仕事の再生に挑戦している久津輪氏と、未来の岐阜和傘を担う若手傘職人の高橋氏とともに、岐阜の伝統工芸を未来に繋げる方法を考える対話の会です。

久津輪 雅
ひづる まさ
岐阜県立森林文化アカデミー 専攻

高橋 美紀
たかはし みき
和傘職人

PHD号選定レクチャーを受けて、和傘職人として木工を学んだ後、イギリスで家具職人として働き、卒業後、帰郷。伝統的なものづくり文化の継承と新しい文化の創造に力をいれている。

和傘の老舗で、岐阜市立中央公民館で20余年活動中。和傘の歴史や職人の生活に詳しく、世代にわたる和傘の文化の継承と新しい文化の創造に力をいれている。

神無月

岐阜の発酵をデザインする

—帖とたまりと発酵トーク—
2016.10.27 thu 18:30-20:30 / 考えるスタジオ



発酵食は、人類が培ってきた食品の保存法であり、また地域独自の味覚を作り上げてきた地域食文化の核に位置付けられるもの。ここ岐阜にも「帖の熟れ鮎」、「たまり醤油」など、地域独自の発酵食品を作ってきた達人がいます。関東を中心にメディアでも活躍する発酵デザイナー・小倉ヒラク氏がその奥深さと岐阜らしさを引き出し、この地ならではの発酵トークを醸し出します。恒例の試食もあるよ。

泉 善七
いずみ ぜんしち
岐阜県岐阜市在住
/酒造高野

小倉 ヒラク
おぐら ひらく
発酵デザイナー
/フードディレクター

山川 晃生
やまがわ てるお
山崎屋株式会社 三代目

作業、醸造技術者、ライター、オカルト研究者など様々な得意を持つ、UIMAを中心、都市伝説など、あらゆる不気味現象に関する唯一のオカルトコンテンツメーカー。

霜月

岐阜市不思議巡り

—都市伝説と神話の現場から—
2016.11.14 mon 19:00-20:30 / おどるスタジオ



オカルト研究者・作家の山口敏太郎氏は、全国的な調査を通して「口裂け女」の発祥地が岐阜であることを突き止め、柳ヶ瀬でのお化け屋敷など地域活性化事業に取り組んできました。その山口氏と共に岐阜の妖怪伝説や神話の地を巡る妄想ツアーに出発! これまで氏と共に巡ってきた岐阜市の不思議スポットを辿りながら、岐阜市の不思議のルーツに迫ります。

山口 敏太郎
やまがuchi びんたろう
オカルト研究者

蒲 勇介
かみ ゆうすけ
岐阜の妖怪研究者

長良川の舟命による流域の文化を学ぶ中で、川への感謝と流域の山への信仰が結びついていることを知り、岐阜の妖怪・伝説の発掘活動に協力している。

おとなの夜学 に参加するには…

(参加資格) 中学生以上 *お子さま連れはご遠慮下さい (お申込み) みんなの森 ぎふメディアコスモス 〒500-8076 岐阜市町司40-5
(定員) 各回 50名 (参加費) 無料 岐阜市立中央図書館 (総合カウンター) 〒505-262-2924
(予約申込) 各プログラムの1ヵ月前より予約受付開始 または おとなの夜学 web サイト http://otonanoyagaku.net



みんなのたからものMAP

●和食編

●カフェ編

みんなのたからものMAP

みんなのおすすめ
あつめました♪

カフェ・喫茶
洋菓子 編



みんなのたからものMAP

みんなのおすすめ
あつめました♪

ランチ
【和食】編



観光にならない
小さな観光を集めて。
生活情報を...

ぎふの歴史を知る。情報を共有する場

シビックプライドライブラリー

2020年開設

●シビックプライドライブラリー



おとなの夜学

●おとなの夜学ブックレット 全12冊



●納涼の都岐阜 展示



ここからは、第2フェーズへ。

シビックプライドセンター = メディアコスモス

第1フェーズ

(2015~2020)

- ・メディアコスモス開館
- ・複合施設
- ・建築・ハードウェアの
美しさ、心地よさ

みんなの森
にぎわいの創出

第2フェーズ

(2021~現在)

- ・市庁舎移転によるつかさのまちエリアのにぎわい創出
(館内から館外への流れづくり)
- ・融合施設へ(タテ軸 + ヨコに軸を通す)
- ・建築・空間デザイン + ひと・ソフトウェアの独自性、魅力づけ
- ・より市民の使いやすいサードプレイスに合った施設マネジメントの確立

図書館 × 市民協働 ⇒ 価値創造へ

■シビックプライド

シビックプライド

これからも岐阜の地で
楽しく豊かに暮らし続けていくための
関わる人々の誇り・心情・心意気のこと

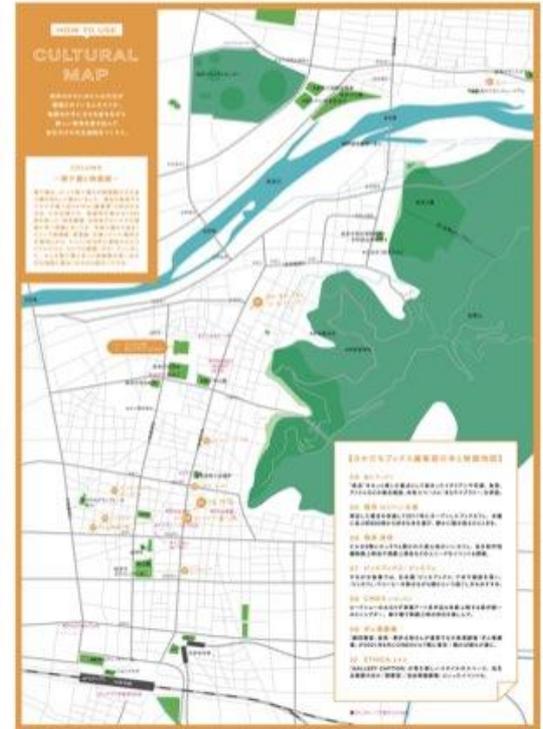
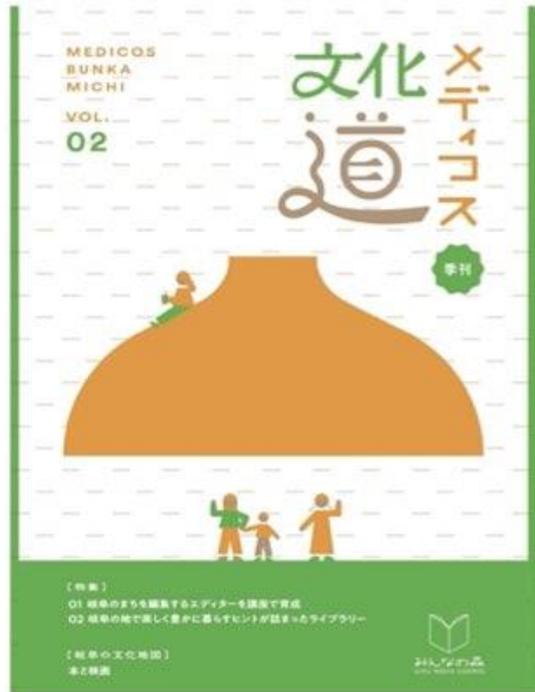
メディコス季刊紙 (年4回)

メディコス文化道を発刊中!

2021~現在

オリジナルな
メディアで
ヨコをつなぐ

(図書館+市民活動交流センター
+多文化交流プラザ
+メディアコスモス事業課)



2022年3月シビックプライドプレイスOPEN



- コンセプト
1. 小さな観光・地域文化の可視化
 2. ひと・情報の集積拠点
 3. まち散歩の拠点 → 自分だけのMapづくり(QRコードで)

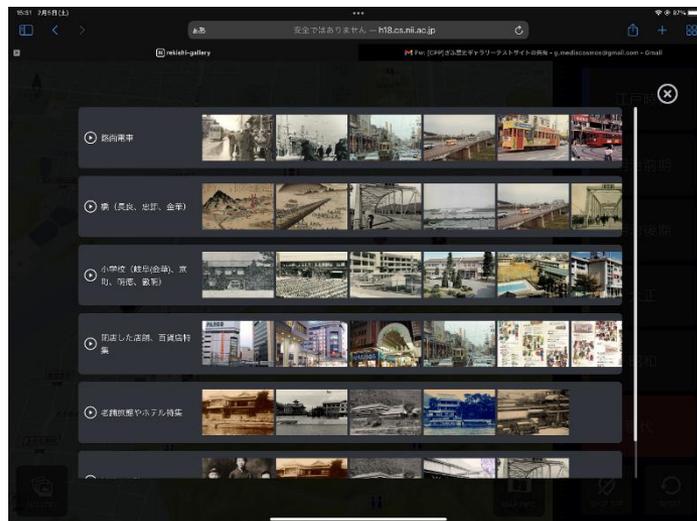
まち歩きステーション

岐阜市民だからこそ知っている、岐阜らしい魅力スポットを紹介するエリア



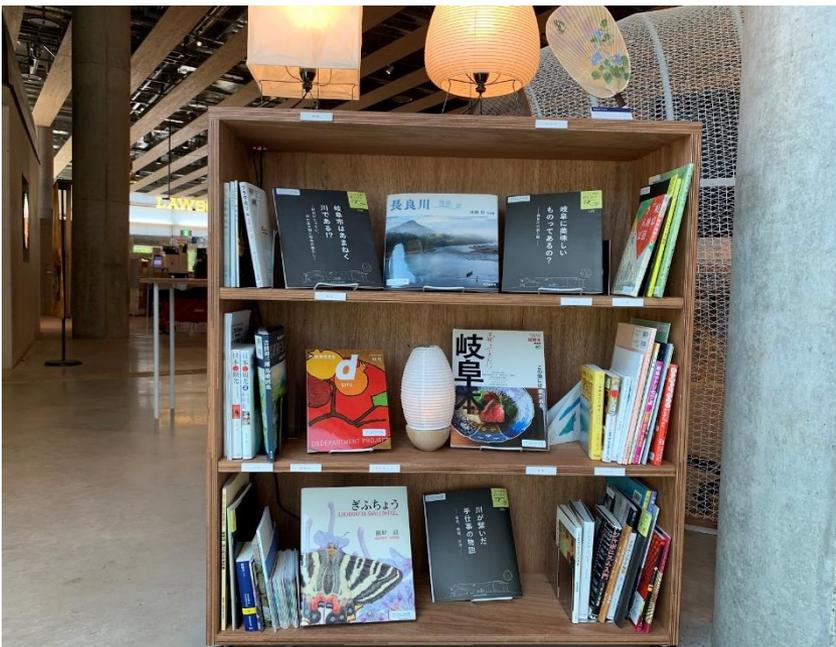
ぎふ歴史ギャラリー

貴重な写真や懐かしい写真から岐阜の歴史を重層的に見ることができるエリア



セレクトブックシェルフ

岐阜のことをもっと詳しく知ることができる本棚。旬な情報から、歴史、伝統までさまざまな本が並ぶ。



岐阜な人カード

- ・信長公など岐阜の偉人・文化人を紹介。
- ・伝統工芸の職人など現在岐阜で活躍している若手の人たちも紹介。

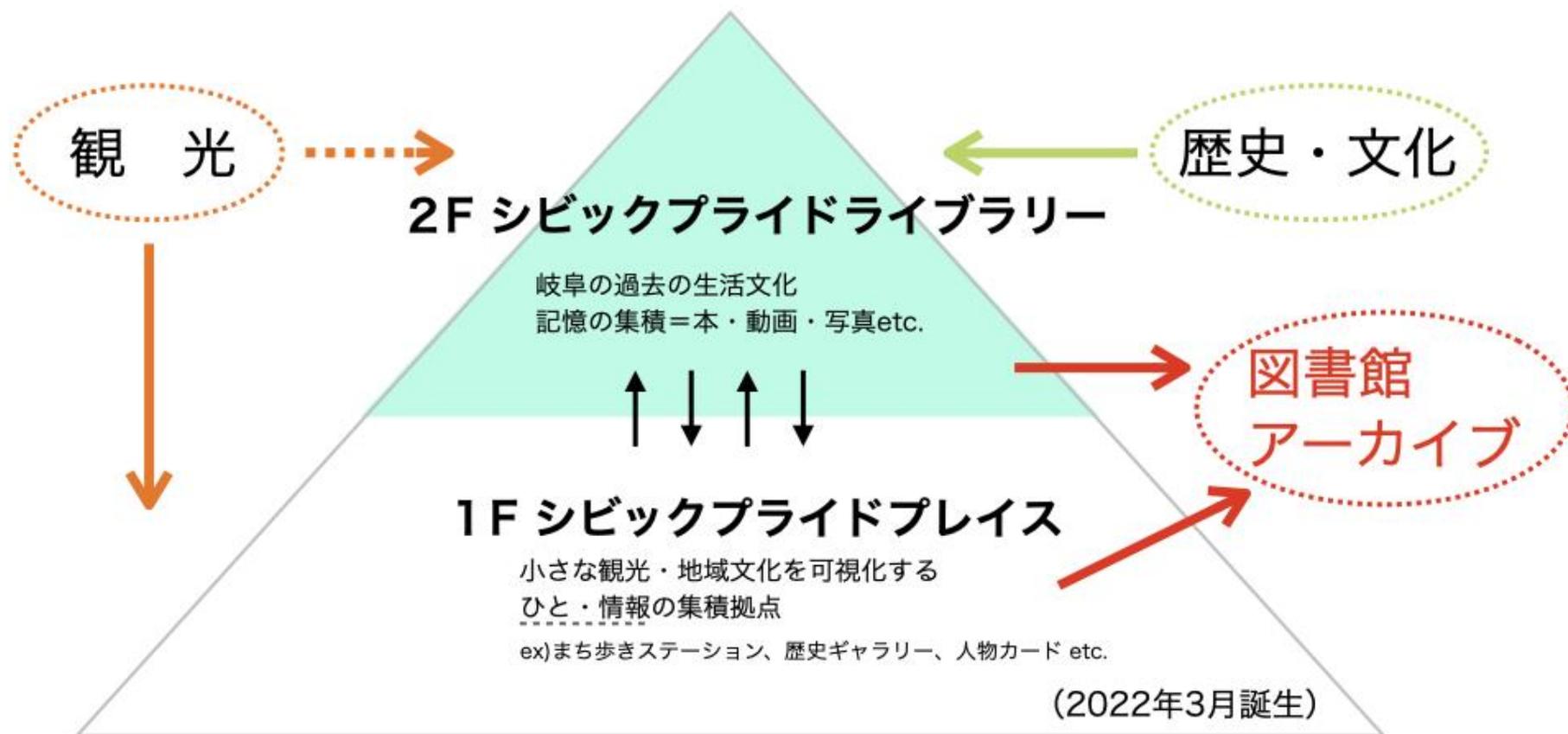


【今後の方向軸として】

メディアコスモス
全館

シビックプライドセンター化

—小さくても、しなやかにネットワークを培ってゆく—



【これからの全館像】

関係人口を増やす

ものがたりとイメージの発信

ロコミ

SNS

HPの更新

季刊情報紙の刊行

広報の統一

<コンセプト>

<共通基盤づくり>

<事業となるべきテーマ>

メディアコスモス
複合文化施設

図書館



市民協働



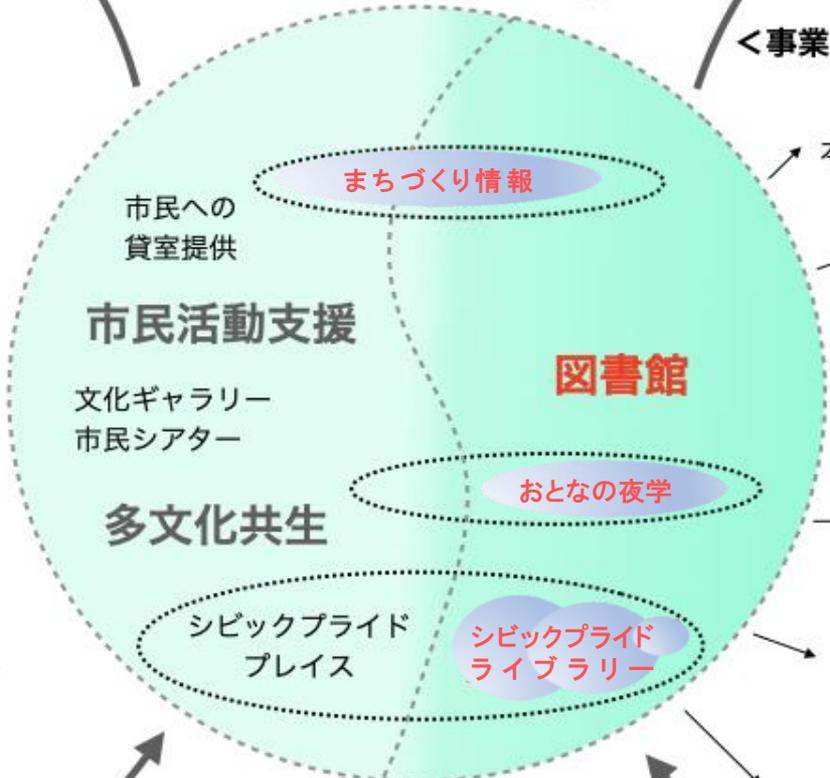
価値創造

3つのPoint

- 外への発信
プレイスとなる
- シビックプライドの醸成
- ひと・情報のつなぎ

担い手の育成

文化による社会包摂



本のまちづくり

子育てのまち

小さな観光拠点

柳ヶ瀬とのつなぎ

担い手の育成
(ボランティア)

デザイン・広報の一新

つなぐ

海外からの移住者

留学経験者

全国からの視察者

デザイナー

学生

まちづくり人材

小さな観光人材

クリエイター人材

教育関係者

個人商店主

アーティスト

Iターン・Uターン組

起業家

ビジネスマン

研究者

エンジニア

など

図書館と市民活動がつながりあい、重なりあい新たな動きがたえず生まれる場であること

参考文献等

「市民が育む持続可能な地域づくり」 松本 恭幸（編著）＜発行：同時代社＞

第8章「シビックプライドの醸成が図書館を変える」 吉成 信夫（著）

メディアコスモスの
情報はこちら！

シビックプライドプレイスHP



ぎふメディアコスモスHP



季刊紙「メディコス文化道」

